

公益社団法人 地盤工学会
基 準 部 会
 平成 28 年度第 3 回 議事録

担当：峯岸邦夫

日時	平成 28 年 9 月 2 日 (火) 14:45-16:50					場所	地盤工学会会議室	
部長	松本 樹典	○	理事	仙頭 紀明	○	幹事	峯岸 邦夫	○
部員	浅田 素之	×	部員	伊貝 聡司	○	部員	海野 寿康	○
★部員	大向 直樹	○	★部員	小早川博亮	×	★部員	肴倉 宏史	○
部員	佐藤 毅	○	部員	高柳 剛	×	部員	浜田 英治	○
部員	平井 貴雄	—	部員	藤原 照幸	○	部員	宗像 保男	○
オブザーバー	中川 直	×						
						事務局	齋藤・長尾	○

★：H28 年度新任 ○：出席 ☆：出席（電子会議） ◎：代理出席 ×：欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-28.3.0	平成 28 年度 第 2 回基準部会議事録案
資料-28.3.1	「平成 29 年度事業方針・計画（案）、予算（案）作成のお願い」、平成 28 年度事業方針・計画、予算、平成 29 年度事業方針・計画（案）
資料-28.3.2	平成 28 年度予算執行状況、書籍売上・在庫数
資料-28.3.3	JIS 原案作成委員会「動的コーン貫入試験方法」、JIS 原案作成委員会構成の方針について（平成 27 年度第 6 回部会資料）
資料-28.3.4	理事会（H28/7/28）報告資料
資料-28.3.5	日本規格協会原案共同作成事業契約書（動的コーン・制定）（表記法・制定）、平成 28 年度 JIS 原案作成委員会 日程・名簿「地盤工学表記法」
資料-28.3.6	新規化学試験（全含有量試験、岩石関連試験のための試料調製、微生物関連試験のための試料調製） 基準化検討に係る上申書
資料-28.3.7	室内試験規格・基準委員会 WG 議事録
資料-28.3.8	平成 28 年度第 2 回地盤調査規格・基準委員会議事録、WG 議事録
資料-28.3.9	基準部 HP の更新作業に関する確認

審議事項

1. 前回議事録の確認

(資料--28.3.0, pp.1-6)

峯岸幹事より、資料に基づき前回議事録(案)について説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

2. 全体関係

(1) 平成29年度事業方針・計画、予算

(資料--28.3.1, pp.7-12)

松本基準部長より、資料に基づき基準部の平成29年度事業方針・計画(案)、予算(案)作成について、事業方針・計画(案)は大きく8項目として、収入増となるような事業方針・計画にすること、平成28年度の予算をベースに作成することが説明された。

事業方針・計画(案)については、各委員会幹事が現状に合わせて関連項目の修正を行い、原案を部長、理事、幹事と事務局でまとめることになった。また予算(案)については、各委員会からの予算を積み上げ、部長、理事、幹事と事務局で原案を作成することになった。

作成された原案は、メール審議を行うことになった。

(2) 予算執行状況、書籍売上・在庫数 *赤本の増刷

(資料--28.3.2, pp.13-15)

齋藤事務局員より、資料に基づき8月末までの基準部予算執行状況、丸善および学会事務局で取り扱っている書籍の販売実績について説明があり、確認された。

なお、ISO国内委員会の執行率が突出しているのは、海外派遣の費用を委員会費でまかなっているためと追加説明があった。

赤本の増刷については、次回部会で検討することになった。

(3) ウェブサイトの基準部関連ページの更新(広報委員会)

(資料--28.3.9, pp.71-74)

欠席の高柳部員の代理で齋藤事務局員より、資料に基づきWeb上の基準部関連ページの更新作業について説明があり、審議の結果、原案中の「職務」を学会約款に合わせ「業務」という表現に統一することで承認された。

なお、委員会議事録は、各委員会幹事が内容の確認(個人情報削除等)後、事務局に送り、Webに掲載することになった。

(4) その他

特になし

3. 委員等の異動

理事会報告(9月) (1) 室内試験規格・基準委員会

委員の追加 WG4 力学特性 WG

委員の追加について仙頭理事より提案があり、審議の結果、原案通り承認された。

- ・納谷 朋広(株式会社ダイヤコンサルタント)
- ・吉田 淳(サンコーコンサルタント株式会社)
- ・島田 徹也(基礎地盤コンサルタンツ)

理事会報告(9月) (2) 地盤調査規格・基準委員会

JIS原案作成委員会 動的コーン貫入試験方法(兼任)

(資料--28.3.3, pp.16-23)

浜田部員より、JSA公募に提出したJIS原案作成委員会と同分科会の名簿について、前者は地盤調査規格・基準委員会、後者は動的コーンWGのメンバーが兼任するとの説明があり、審議の結果、承認された。

理事会報告(9月) (3) ISO国内委員会

委員の退任 TC190国内専門委員会

峯岸幹事より、TC190国内委員会委員の退任について、下記の通り説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

- ・榊 祐輔
- ・岡田 章(東芝環境ソリューション)

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

特になし

(5) 表記法検討委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

理事会報告(9月) (7) 基準英訳化に関する実行委員会

実施委員の交代

仙頭理事より、下記の通り委員の交代について説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

・藤田 智弘（土木研究所）→宮下 千花（土木研究所）

(8) 部員の異動

特になし

4. ISO 国内委員会 関係

特になし

5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし

6. 室内試験規格・基準委員会 関係

特になし

7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

特になし

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし

9. 技能試験実施委員会 関係

特になし

10. 基準英訳化に関する実行委員会 関係

特になし

11. 基準部所管刊行物

特になし

12. その他

特になし

報告事項

1. 理事会（H28/7/28）開催報告

（資料--28.3.4, pp.24-29）

松本基準部長より、資料に基づき、基準部関連事項について報告がなされた。

2. 全体関係

(1) 日本規格協会 平成 28 年度 JIS 原案作成の採択・契約

（資料--28.3.5, pp.30-41）

齊藤事務局より、JAS との契約について、資料に基づき説明がなされた。

委員会は 1 回程度の開催で、残りは出来るだけメール会議で効率化を図ること、予算は成果物に対して支払われることが追加で説明があった。

3. 部会・委員会関係

(1) ISO 国内委員会

① 平成 28 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	0 万円	-	-	-	
・日本建設業連合会	50 万円	-	-	-	
・ISO/TC190 関係（研究委託）	0 万円	-	-	-	
・三菱総合研究所（国際標準開発事業）		955 万円	○	3 月	
小計	50 万円	955 万円			
合計	1,005 万円				

峯岸幹事より、上表に基づき活動報告がなされた。

理事会報告（9月） ② 国際会議派遣

峯岸幹事より、下記の通り、海外派遣について報告がなされた。

目的:ISO/TC 190/WG 1-ISO/TC 190/SC 3/WG 10 調整会議出席

日程: 2016 年 8 月 18 日～20 日（2泊3日）派遣地: フランス・パリ

出張者: 坂井 宏行 委員・TC190/SC3/WG10 対応 WG（受託）

(2) 地盤工学表記法委員会

伊貝部員より、資料（p.40）に基づき JIS 原案作成委員会の構成について、中立者と JAS の事務局を加えるため表記法のメンバーとは一部異なっているとの報告がなされた。

(3) 室内試験規格・基準委員会

理事会報告（9月） ① 新規化学試験基準化検討について

（資料--28.3.6, pp.42-43）

倉倉部員より、資料に基づき、新規化学試験規格化検討について、委員会を新たに立ち上げず、既存のメンバーで行うとの報告がなされた。

② WG 報告

（資料--28.3.7, pp.44-57）

仙頭理事より、資料に基づき JIS 改訂 WG の活動状況について、報告がなされた。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

① 第 12 回地盤調査規格・基準委員会 開催報告

(資料--28.3.8, pp.58-70)

浜田部員より、資料に基づき活動状況について、報告がなされた。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

特になし

(6) 技能試験実施委員会

① 平成 28 年度 (2016 年度) 技能試験の実施状況

藤原部員より、実施状況について報告がなされた。

今年度は 50 機関の参加があり、山砂の「土粒子の密度」、「粒度」、「締固め」、「含水比」について試験を行い、現在結果の整理中であること、12 月末に参加機関へ結果報告を送付する予定であることが追加で報告された。

また、今後は、三軸圧縮試験や透水試験などの実施を検討しているとの報告もあった。

理事会報告 (9 月) (7) 基準英訳化に関する実行委員会

仙頭理事より、Vol.2 の出版に向けて作業中で、9 月末に原稿が完成する見込みであることが報告された。なお、出版形態はこれまでと同様のバインダー方式とするが、Vol.1 の売上数とこれまでの収支を考慮して、発行部数は 300 部を予定しているとのことであった。

(8) 英文 H P

特になし

4. 日本工業標準調査会 土木技術専門委員会

●H28 年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名	長	委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	松本 樹典	4/26, 7/5, 9/2
ISO 国内委員会	今村 聡	
・ TC182 国内専門委員会	木幡 行宏	4/11, 4/15, 5/10, 5/13, 6/17, 7/29, 8/8, 8/23, 9/9
・ TC190 国内専門委員会	川端 淳一	
・ TC190/SC3/WG10 対応 WG (受託)	坂井 宏行	
・ TC221 国内専門委員会	椋木 俊文	
室内試験規格・基準委員会	豊田 浩史	4/15, 6/17
・ WG1 物理特性	杉井 俊夫	5/12, 6/22
・ WG2 化学特性	肴倉 宏史	5/30, 7/25
・ WG3 透水・圧密特性	渡部 要一	6/16, 8/23,
・ WG4 力学特性	澁谷 啓	
・ WG5 安定化・締固め特性	横田 聖哉	7/8, 8/22
・ WG6 ジオシンセティックス	木幡 行宏	7/15
・ WG7 特殊土の試験	風間 基樹	
・ WG8 赤本改訂版の総説執筆	豊田 浩史	
・ WG9 低透水性土質材料の透水試験方法基準化	西垣 誠	
・ WG10 「土質試験 基本と手引き」改訂	大島 昭彦	
地盤調査規格・基準委員会	末政 直晃	8/10
・ WG1 物理探査・検層	斎藤 秀樹	7/5,
・ WG2 ボーリング・サンプリング	正垣 孝晴	
・ WG3 地下水	進士 喜英	
・ WG4 サウンディング	大島 昭彦	
・ WG5 載荷試験	大島 昭彦	
・ WG6 現場密度試験	三嶋 信雄	
・ WG7 現地計測	上野 将司	
・ WG8 環境化学分析のためのサンプリング	江種 伸之	
・ WG9 地盤調査の計画, 資料調査・地質調査	長田 昌彦	
・ WG10 地下水面上部の地盤を対象とした透水試験方法基準化WG	西垣 誠	
・ WG11 動的コーン貫入試験方法JIS規格化WG	大島 昭彦	

・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG	伊藤 高敏	6/2
地盤設計・施工基準委員会	木幡 行宏	
・WG1 土構造物	本城 勇介	
・WG2 杭の水平載荷試験	中井 正一	
・WG3 グラウンドアンカー	山田 浩	
・WG4 サンドコンパクションパイル工法	寺師 昌明	
・WG5 地山補強土	龍岡 文夫	
地盤工学表記法委員会	大島 昭彦	
技能試験実施委員会	日置 和昭	
基準英訳化に関する実行委員会	竹下 祐二	4/26, 9/2

峯岸幹事より、上表に基づき、基準部関連の委員会、WG の開催状況について報告がなされた。

5. その他

- (1) 理事会（平成28年9月29日（木））への審議事項・報告事項
本議事録（案）中の朱書き部分
- (2) 総務部会（平成28年9月14日（水）開催予定）への提案事項
今回は、特になし
- (3) 次回以降の部会開催日

- ・平成28年度第4回： 第1案 平成28年11月4日（金）14:30～
第2案 平成28年11月 日（ ）14:00～

（対応理事会 H28.11.25 or 12.22 書面）

★ 平成28年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月20日（水） ※書面審議
- ② 5月17日（火）
- ★ 6月8日（水） 総会／理事会
- ③ 6月15日（水） ※書面審議
- ④ 7月28日（木）
- ⑤ 9月29日（木）
- ⑥ 10月28日（金） ※書面審議
- ⑦ 11月25日（金）
- ⑧ 12月22日（木） ※書面審議
- ⑨ 1月27日（金）
- ⑩ 2月24日（金） ※書面審議
- ⑪ 3月17日（火）

⑫ 4月21日（金） ※書面審議

⑬ 5月19日（金）

★ 6月9日（金） 総会／理事会

以上